



訪れる人々を優しく包み込む…

日本一の ネモフィラ満開!!

本日から
スタート!

 **Nemophila Harmony**
ネモフィラハーモニー

4/29月祝 ~ **5/19**日

※期間中のイベントにつきましては公園HPをご覧ください。
(<http://www.hitachikaihin.go.jp>)

2013年4月27日撮影

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター
企画係 広報担当 平田・服部・田中(兼)
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4
TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 9004・9005)
FAX: 029-265-9339
<http://www.hitachikaihin.go.jp>
“ひたち海浜公園”で検索

ネモフィラはこの大型連休中がまさに見頃です。
規模、花数ともに日本一の景観をご覧ください。

無数の花が創り上げる

青の世界

青空に向かって広がる丘に一歩足を踏み入れると、そこは360度見渡す限り青一色の世界。それは小さな小さな無数の花たちが、寄り添い合って創り出したもの。新緑の季節に映える淡い青色が、広大な丘を優しく包み込んでいます。

年々認知度が向上した「みはらしの丘」のネモフィラは今年で12年目を迎えました。一年で最も多くの人々が、この花の見頃時期に訪れます。茨城県ひたちなか市で最も高い場所にある「みはらしの丘」。その植栽面積3.5ヘクタールを覆う450万本の小さな花が満開になりました。

『Flowering2013』の最後を飾る『ネモフィラハーモニー』が、本日4月29日（月祝）より始まりました。ひたち海浜公園の春の花々がパトンをつなぐフラワーリレーのアンカー、ネモフィラ。そのライトブルーの可憐な花と空と海とが織り成す日本最大のパノラマシーンがここにあります。

2013年4月27日撮影



~Nemophila~



ハゼリソウ科の一年草で、北米（カリフォルニア）原産の花。“ネモフィラ”とはギリシャ語の nemos（小森）と phileo（愛する）が組み合わさった言葉で、森の周辺に生息していることが多いところから来ています。和名を“瑠璃唐草（るりからくさ）”と言い、日本には 1877 年（明治 10 年）に渡りました。



ひたち海浜公園では空色に咲く「インシグニスブルー」という品種を咲かせています。その可愛らしい花色・花姿から英名で「ベイビーブルーアイズ」（赤ちゃんの青い瞳）と呼ばれています。



ネモフィラは、寄せ植えなどに使われる脇役の花というイメージがありますが、この小さな花が丘一面に広がると、幻想的で壮大な景観を創り出します。

空を歩く

よく晴れた日は、花の丘が空に溶け込み、まるで空中散歩をしているかのよう。家族や友達、また恋人と、空中散歩してみませんか？

2013年4月27日撮影

※写真はすべて公園スタッフが撮影したもので、加工・合成はしていません。